



# 雪合戦・勝利のポイント

～これで君は雪上のヒーローだ!!～



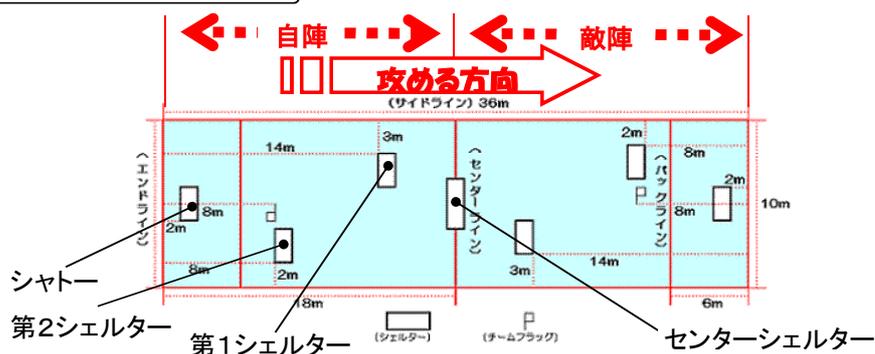
## ■服装編

- ① 服：とにかく、動きやすいものがBEST！  
スキー・スノーボード用のウェアでも可。  
ただし、モコモコのダウンジャケットは当てられやすくなるのでやめた方がいいでしょう。  
また、濡れた時のために着替えを用意しておくといいでしょう。
- ② 靴：運動用の靴でも長靴でも可。  
ただし、濡れるので替えの靴を準備した方がいいです。
- ③ 手袋：特に指定はありません。スキー用のものや軍手で可。

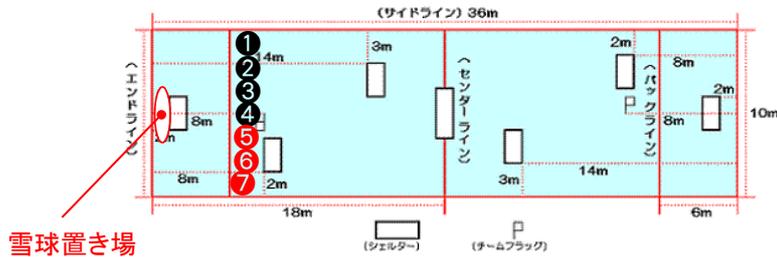
## ■基本ルール編

- ① 1チームは選手7名、監督1名（ただし、選手だけでも可）  
選手はフォワード4名（黒字のゼッケン／1～4番）とバックス（赤字のゼッケン／5～7番）に分かれます。
- ② 試合は3分3セットマッチ（2セット先取した方が勝ちです）  
時間内（3分以内）に敵陣内のフラッグを抜くか、雪球を相手チーム全員に当たった時点で勝ち（そのセットは終了）  
時間切れ（3分終了）の場合は、終了時に残っている選手が多い方が勝ち
- ③ ノーバウンドの雪球に当たった選手は”アウト”となり、コート外へ出なければなりません（そのセットはプレーできません）。  
味方の投げた雪球、自分の手を離れた雪球が当たってもアウトです。
- ④ 1セットに使える雪球は90個（試合開始前に作った雪球だけ）  
試合中に、雪を集めて作った時は、その時点でアウトになります。
- ⑤ 敵陣に入れる選手は3名まで（4人以上が入るとその時点で負け）  
先に敵陣に入った選手がアウトになってコート外に出るまで入れません。
- ⑥ 審判の指示には、必ず従うこと

## 雪合戦コートと通称

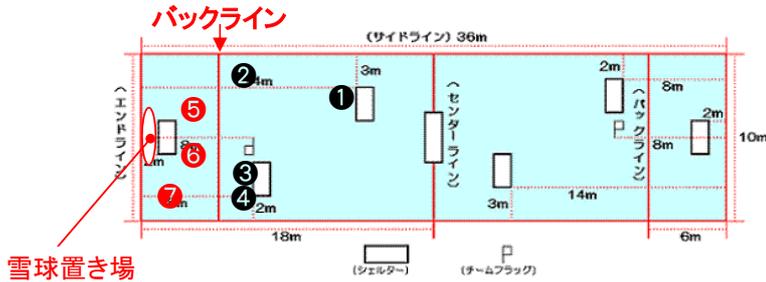


## 試合開始時



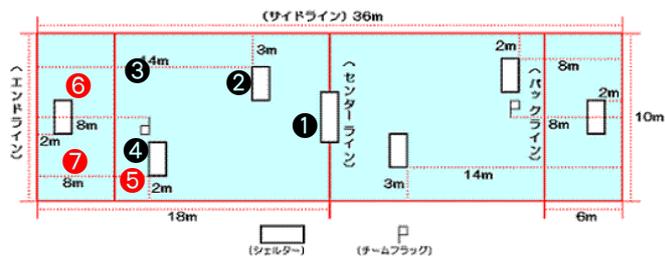
- ① シャトーの裏に雪球を置き、雪球を持ってバックラインの前に並びます。
- ② 審判の笛で試合開始します
- ③ 試合開始と同時に一齐に雪球が飛び交うので、持っている雪球を投げ終わった後、誰がどのポジションにつくかを、あらかじめ決めておいた方がいいでしょう。

## 標準的なポジション



ルール上、フォワード（ゼッケン1～4番）の選手は、自陣バックラインより後ろに戻ることはできません。そのため、雪球置き場まで雪球を取りに戻れないので、バックス（ゼッケン5～7番）がフォワードに雪球を供給する必要があります。  
 （雪球を転がすか、届けるのが一般的な方法で、ノーバウンドのパス、トスは不可です。  
 ※基本ルール編の③参照）

## 攻撃的なポジション例



相手チームに当てるためにも、相手チームのフラッグを取るためにも、少しでも相手陣地に近いシェルターを確保した方が優位です。  
 特にフォワードの選手は、常に前方のシェルターに入ることを心がけましょう。

## ところで、雪球は

雪合戦で使う雪球は、専用雪球製造器で作ります。けっこう体力がいるので、製造体験希望の方は、ぜひチャレンジしてみてください



世界共通規格・雪球製造器

## 勝利へのポイント

- ① **雪球90個は多いようで少ない!?**  
セット開始から最後までみんなが投げ続けると、途中で雪球がなくなってしまいます。3分間の中で配分を考えながら投げましょう。
- ② **フォワードの選手に雪球を集中しましょう!!**  
どんなに速い球を投げて、自陣の後方からではなかなか相手に当たりません。バックスの選手は、できるだけ雪球供給役に徹して、フォワードが主になって攻撃する方が効果的です。
- ③ **直球だけでは当たらない!!**  
直球だけ投げて、シェルターに隠れた相手にはなかなか当たりません。シェルターに隠れた選手は、山なりの球で狙いましょう。シェルターをかすめるくらいきわどい球を投げられたら、あなたも名プレイヤーの仲間入りです。
- ④ **相手から目をそらしてはいけません!!**  
相手の雪球に当たらない秘訣は、常に敵陣の方を見ていること。相手に背中を向けたり、下を見ていると狙われますよ。
- ⑤ **集中攻撃をされた選手はたまらない!!**  
一人の選手を狙って、みんなで一斉に攻撃するのも効果的です。一つの球はよけられても、一度にたくさんの球がくるとそう簡単に逃げ切れるものではありません。相手にわからないように、サイン（暗号）を決めておくのもいいでしょう。誰かが、「6・1・3・4・5」と叫び、最後に言った番号のゼッケンを



**さあ それでは  
勝利目指して頑張りましょう!!**